


ワーケーション事業 伴走支援者プロフィール情報

ふりがな	まつした けいた	
氏名	松下 慶太	
所属組織	関西大学社会学部	
略歴	京都大学文学研究科・博士(文学) タンペレ大学ハイパーメディア研究所訪問研究員、実践女子大学人間社会学部准教授、ベルリン工科大学訪問研究員を経て関西大学社会学部・教授。	
保有資格	※お持ちであれば関連するものをご記入ください。	
実績	地域・企業においてワーケーション、デジタルノマドに関するアドバイザリー、講演を多数行っている。日本ワーケーション協会フェロー、日本デジタルノマド協会顧問、ワーケーション&デジタルノマド・ラボ Co-Founder。『ワーケーション企画入門』（学芸出版社、2022）、『ワークスタイル・アフターコロナ』（イースト・プレス、2022）など著書多数。	
ワーケーション 関連の専門性	■専門性 ※該当箇所に☑をつけてください。 <input checked="" type="checkbox"/> 子育て世代も参加可能な業務型ワーケーション実証事業 <input checked="" type="checkbox"/> デジタルノマド受入に向けた環境及び体制整備に関わる実証事業	
ワーケーション 関連の実績	朝日新聞、読売新聞、日本経済新聞、公明新聞、河北新報、日経 BP、日経 Xtech などメディアでもワーケーション、デジタルノマドについてコメントを行っている。また企業に対してワークスタイル・ワークプレイス改革、デジタルノマド事情などについてのアドバイザリー、鳥取県、宮崎県日向市、静岡県東伊豆町、岩手県釜石市など多くの地域でワーケーション、デジタルノマドに関するアドバイザリー、講演も行う。 詳細は <a href="https://www.matsushita-lab.com/#publications">https://www.matsushita-lab.com/#publications</a> を参照。	
申請を検討する 事業者へ	世界の中でも先端的なところを目指す事業者からはじめの一歩として、という事業者までそれぞれのニーズやゴールに合わせて丁寧に企画を練っていきたいと思います。また自分自身が子育て中かつ二拠点生活、ワーケーション実践などの経験豊富なのでそうした経験も活かしてアドバイスできればと思います。	
<伴走支援マッチング希望> 事業者の応募申請時		
添削可能件数	3-5 件 ※添削可能な件数をご記載ください。	